

行政経営戦略

行動計画 取組状況

平成 27 年度、今後 3 年間の行政改革を戦略的に進める指針として「島田市行政経営戦略（平成 27 年度～29 年度）」と、その具体的な取組内容を示す「行動計画」を策定しました。今回は、平成 27 年度の主な取組状況についてお知らせします。

◎経営管理課 ☎ 36-7235

行動計画では、行政経営戦略に掲げる理念「人口減少社会に挑戦する経営改革」を実現するための6つの基本方針に基づき、具体的な112項目の取組を定めました。各取組項目における平成27年度の進捗状況は、次のとおりです。計画どおり実施できなかった13項目については、目標達成に向けて、今後も取組を進めていきます。

平成 27 年度の全体の進捗状況

基本方針	取組 項目数	取組状況		
		○	△	－
①市の経営方針に基づき行政運営する仕組みの構築	4	4		
②人材育成の推進	12	10	2	
③組織力の強化	10	8	1	1
④効率的・効果的な行政運営の推進	9	8		1
⑤財政の健全化	58	47	9	2
⑥市民との協働体制の確立	19	18	1	
合計	112	95	13	4

- …計画どおり実施したもの
- △…取組を行っていないが、計画どおりではないもの
- －…計画どおり、今年度からの取組となっていないもの

基本方針ごとの主な取組結果

1 市の経営方針に基づき行政運営する仕組みの構築

●組織の経営方針および個人目標の設定方法、方針を管理する仕組みなどについて調査・研究を実施。今年度から「方針管理制度」を試行しています。

2 人材育成の推進

●職員満足度調査において、「市政運営への共感」の満足度が他の自治体より低い結果になり、共感度の向上が課題であることが明らかになりました。

●複雑化・多様化する行政課題に対応できる職員を育成するため、新たに「早稲田大学マニフェスト研究所」へ派遣を行うなど、研修内容を充実させました。

3 組織力の強化

●行政課題の解決を図るため、「包括ケア推進課の設置」などの組織再編を行いました。

●「新東名島田金谷IC周辺開発プロジェクト」の推進にあたり、関係課で定例会を開き、情報共有を図るなど、横断的に取組みました。

4 効率的・効果的な行政運営の推進

●職員が事業の目的や効果を意識で

きるように、「島田市総合計画実施計画（平成28年度～30年度）」に、成果目標を設定しました。

●職員提案制度では、1人1提案以上を目指して取組を進めた結果、提案件数が大幅に伸びました。（前年度対比 292件増）

5 財政の健全化

●新たな財源を確保するため、市公式ホームページ広告掲載事業の実施要綱などを制定し、今年度から実施しています。

●ふるさと寄附金の新たな返礼品提供事業者の掘り起こしに努めた結果、寄附金額が増額しました。（前年度対比 843万7千円増）

6 市民との協働体制の確立

●行政の透明性の向上および市民の行政への参画を促すため、積極的な情報提供や市民会議の開催、公聴活動の充実を図りました。

●協働のまちづくりを担う人材の育成を図るため講座を開催し、地域交流センター内において、市民が主体的にまちづくりに関わる活動ができる拠点（市民活動室）の整備を進めました。

※行政経営戦略行動計画およびその取組状況は、市ホームページに掲載しています。また、市役所本庁舎および各支所の情報公開コーナーでも、ご覧いただけます。